

アンドリュー・ハワード サステナブル投資グローバル・ヘッド

シュローダーの気温上昇予測ダッシュボードが予測する長期的気温上昇が、3四半期連続で徐々に低下しています。

2021年第1四半期のさまざまな事象を踏まえた最新予測によると、現在の変化のペースが続いた場合の産業革命前の水準と比較した気温上昇は3.6℃です。昨年夏の予測値は3.9℃でした。この記事では、石油・ガス投資と炭素価格の変化について解説します。



	政府	企業/金融	技術革新	資源関連	気温上昇予測(平均)
期待	政府の目標 2.6℃	企業の目標 3.1℃	電気自動車 2.9℃	石油&ガス投資 2.5℃	+3.6℃
	社会的関心 3.3℃	気候変動ファイナンス 5.5℃	再生可能エネルギー 3.0℃	化石燃料埋蔵量 4.7℃	
実態	政治的取り組み 2.9℃	炭素価格 (カーボンプライス) 2.3℃	二酸化炭素回収貯留 (CCS) 容量 4.9℃	化石燃料生産 6.1℃	

出所：シュローダー

気温上昇予測ダッシュボードとは

気候変動は今やグローバル経済を大きく左右するテーマの一つです。シュローダーは、気候変動に対処するために世界の政策立案者や企業が実施する対策の変化から示唆される長期的な気温上昇予測を客観的に示す指標として、2017年に気温上昇予測ダッシュボードを開発しました。気温上昇予測ダッシュボードでは、政策目標から再生可能エネルギー容量に至るまで幅広い領域を検証し、2015年に世界のリーダーが合意したパリ協定の目標に照らした進捗を追跡しています。21世紀の世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすることを目指して結ばれたパリ協定の加盟国は、現在189カ国に達しています。

気温上昇予測ダッシュボードの最新予測値

最新の予測によると、現在の変化のペースが続いた場合の産業革命前の水準と比較した気温上昇は3.6℃です。2020年第4四半期の3.7℃から低下し、過去最低記録を更新しました。気温上昇予測ダッシュボードの予測値が2℃未満の目標と一致するまでにはまだ大きな開きがありますが、勢いの兆しを明確に見て取ることができ、明るい材料と言えます。

今後の動き：COP26の開催と2020年のSBTi参加企業50%増

2021年は、おそらく転換の年になるとみています。11月には第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)が開催され、パリ協定の採択から5年目の節目の会議となります。COP26は当初2020年の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により今年に延期されています。COP26はパリ協定の採択以降積み重ねられてきた各国の具体的な気候変動対策を議論し、連携させることを目的としています。成功すれば、世界の温室効果ガス排出量を今後数十年でゼロに抑えるために必要な、持続性のある削減に弾みをつけることができます。

これまでと同様、数カ月後に開催される会議に向けてその準備期間の盛り上がりが予想され、世界の炭素排出量またはGDPのおよそ7割を占める国々が経済の完全な脱炭素化へのシフトを既に公表しています。Science Based Targets イニシアティブ(SBTi)の下でパリ協定に沿った目標を設定した企業は昨年およそ50%増加し、この動きに加わる企業はますます増え続けています。

こうした勢いが気温上昇予測ダッシュボードの変化として現われています。年次データを使用する一部指標は最新値ではないですが、更新頻度の高い指標に現在現われている動きと同じ方向性だとすれば、今後も予測値の低下が期待されます。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

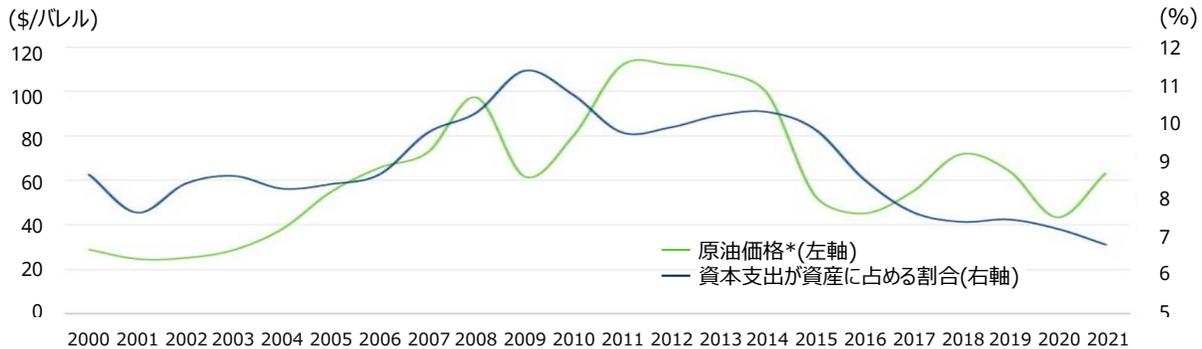
2021年第1四半期の2つの影響：石油・ガスへの投資減少と炭素価格の上昇

2021年第1四半期は気温上昇予測ダッシュボードの予測値の改善に2つの領域が大きな影響を与えました。

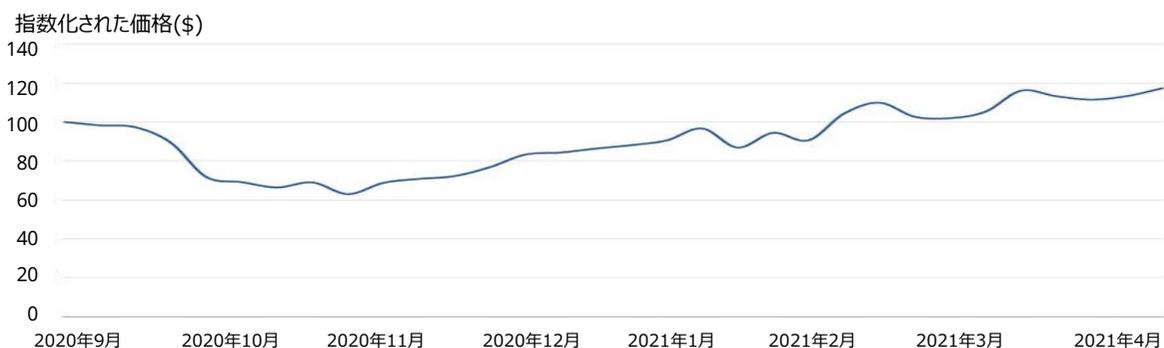
1つ目は、石油・ガスへの投資が減少傾向にあることです。シュローダーでは、今後の投資の伸びの兆しとして、上場企業の設備投資と既存の資産とを比較することで業界の投資額を調査しています。石油・ガスへの投資の伸び率は、原油価格の回復基調にもかかわらず、2020年初めから低下しています。

2つ目は、EU域内排出量取引制度(EU ETS)と、米国地域温室効果ガスインシアティブ(RGGI)のオークションでの炭素価格が高騰していることです。世界初、世界最大規模の排出量取引制度であり、EUの気候変動政策の礎となるEU ETSは過去最高を更新し続け、足元の価格はCO21トンあたり40ユーロを超えています。

気候変動目標を達成するためにはスケールや幅広さにおいて改善が必要があり、そのためには炭素価格のさらなる上昇が求められると考えています。近年は産業界からの排出量が大幅に抑制されている一方で価格上昇が続いており、こうした動きの力強さと政策措置の効果が実証されています。

原油価格と資本支出

出所：Refinitiv, Schroders estimates. *:Crude Oil BFO M1 Europe FOB \$/BBL

欧州炭素排出枠*

出所：Refinitiv, Schroders estimates. *:European Carbon European Emission Allowance December Roll 1-15 Window

2021年と、COP26開催までの動きを期待感を持って注目しています。多くの主要国の政策立案者が、公約を実行に移すための具体策をすでに打ち出しています。これが協調的なグローバルアクションに向けた下地となり、世界経済を脱炭素化の軌道に乗せるために必要となる温室効果ガス排出量の持続的削減を下支えすることになります。

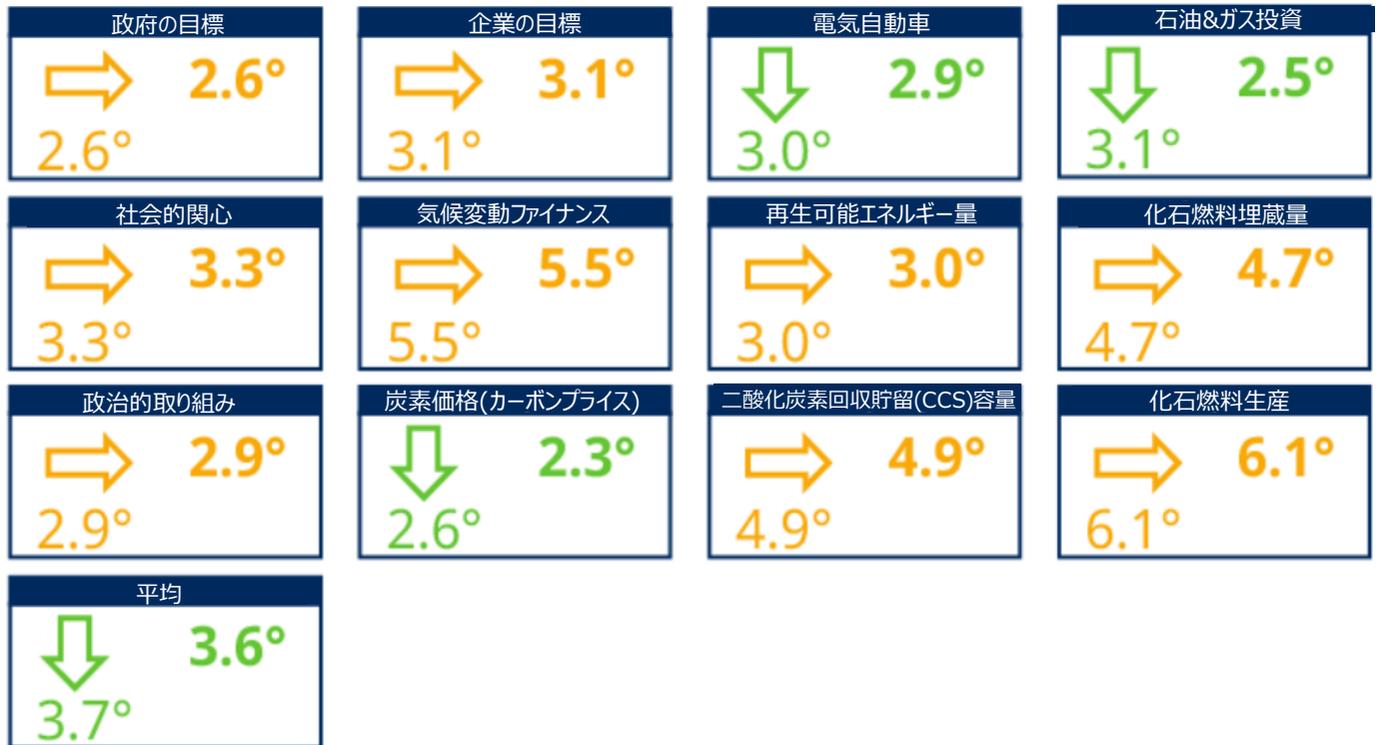
気温上昇予測ダッシュボード 2021年第1四半期

取り組みの加速とともに過去最低値を更新

変化のまとめ

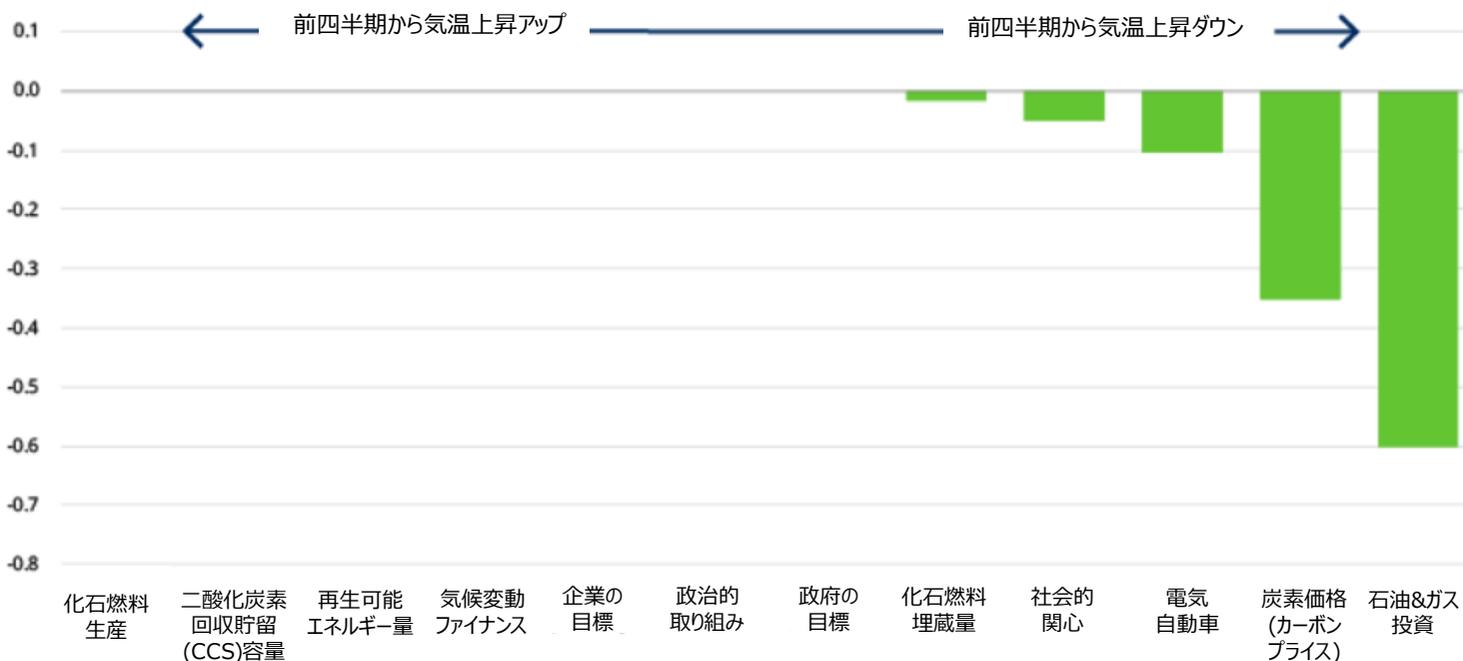
以下は前回の情報更新（2020年第4四半期）と比較した各指標の変化をグラフで示しています。

前四半期からの気温上昇予測ダッシュボードの数値の変化



出所：シュローダー 601035.

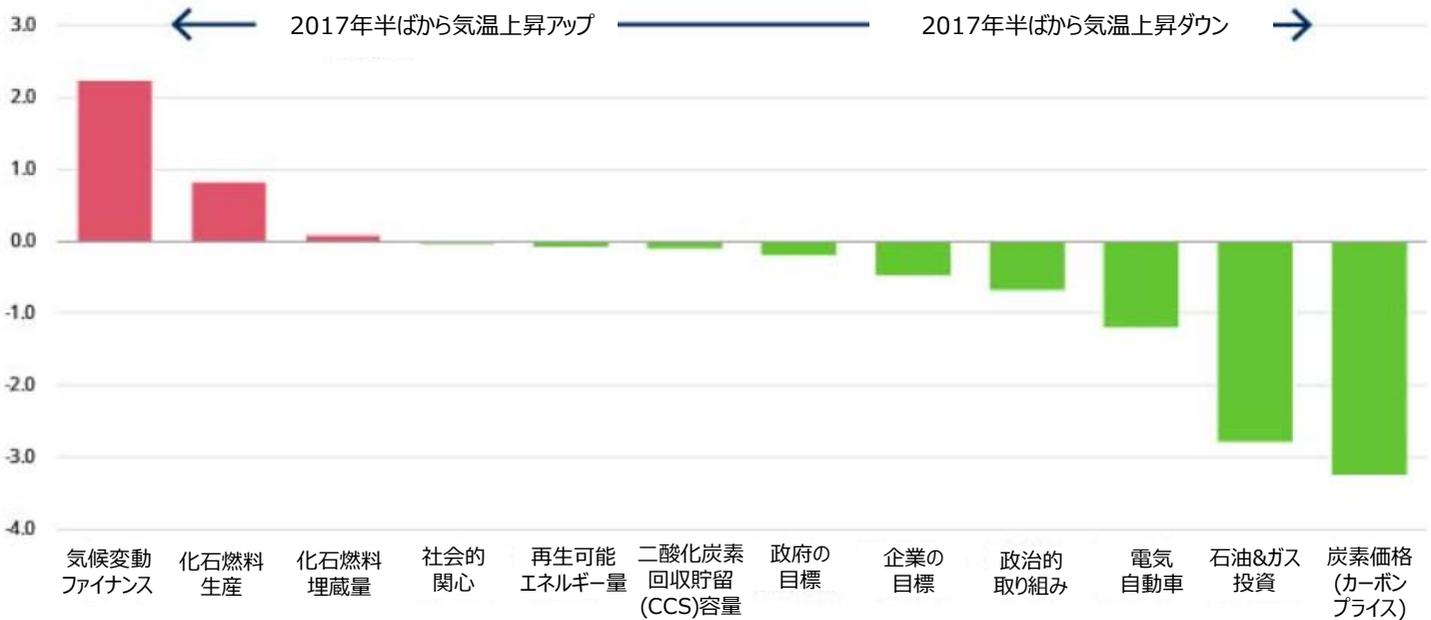
前四半期からの項目別気温変化 (°C)



出所：各種データソースに基づくシュローダーの試算。601035.

以下は気温上昇予測ダッシュボードの発表（2017年半ば）以降の各指標の累積変化をグラフで示しています。

気温上昇予測ダッシュボード提供開始（2017年半ば）以降の項目別気温変化（℃）



出所：各種データソースに基づくシュローダーの試算。601035.

【本資料に関するご留意事項】

- 本資料は、情報提供を目的として、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド（以下、「作成者」といいます。）が作成した資料を、シュローダー・インベストメント・マネージメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が和訳および編集したものであり、いかなる有価証券の売買の申し込み、その他勧誘を目的とするものではありません。英語原文と本資料の内容に相違がある場合には、原文が優先します。
- 本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。
- 本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、弊社はその内容の正確性あるいは完全性について、これを保証するものではありません。
- 本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。
- 本資料中に個別銘柄についての言及がある場合は例示を目的とするものであり、当該個別銘柄等の購入、売却などいかなる投資推奨を目的とするものではありません。また当該銘柄の株価の上昇または下落等を示唆するものでもありません。
- 本資料に記載された予測値は、様々な仮定を元にした統計モデルにより導出された結果です。予測値は将来の経済や市場の要因に関する高い不確実性により変動し、将来の投資成果に影響を与える可能性があります。これらの予測値は、本資料使用時点における情報提供を目的とするものです。今後、経済や市場の状況が変化するのに伴い、予測値の前提となっている仮定が変わり、その結果予測値が大きく変動する場合があります。シュローダーは予測値、前提となる仮定、経済および市場状況の変化、予測モデルその他に関する変更や更新について情報提供を行う義務を有しません。
- 本資料中に含まれる第三者機関提供のデータは、データ提供者の同意なく複製、抽出、あるいは使用することが禁じられている場合があります。第三者機関提供データはいかなる保証も提供いたしません。第三者提供データに関して、本資料の作成者あるいは提供者はいかなる責任を負うものではありません。
- シュローダー/Schroders とは、シュローダー plc およびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。
- 本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。